

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 升麻

新訂和漢薬 記載頁

453

基源 オダマキ科ショウマ属 *Cimicifuga* sp.の根茎. 主としてサラシナショウマ *C. simplex* Wormsk. (= *C. foetida* L.) フブキショウマ *C. davurica* Max. オオミツバショウマ *C. heracleifolia* Kons. 等より採る.
〔或はユキノシタ科アカショウマ *Astilbe thunbergii* Miq. 及びその変種 トリアシショウマ var. *congesta* H. Boiss. を赤升麻とする.〕

部位 根茎: 去鬚蘆剉[本草綱目], 去鬚水洗剉細[一本薬選].

作用 無毒. 解毒 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 和漢薬物, 満洲漢薬], 殺百精老物殃鬼, 軽身 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 安魂, 定魄 [証類本草, 本草綱目], 補脾胃, 発汗 [本草綱目], 升陽, 散熱, 消風 [満洲漢薬].

応用 瘰瘍, 瘡氣 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 和漢薬物], 蟲毒 [神農本草, 新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 頭痛, 腹痛, 時気毒瘍 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 風腫, 喉痛, 口瘡 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目, 一本薬選, 古方薬議], 痘瘍, 驚瘍[証類本草, 本草綱目], 癰瘍, 碗豆瘍 [証類本草, 本草綱目, 古方薬議, 和漢薬物], 風邪 [本草綱目, 満洲漢薬], 久泄下痢 [本草綱目] (=久痢, 疫痢 [一本薬選], 獥痢[満洲漢薬]), 下血, 斑疹 [本草綱目, 一本薬選], 崩中帶下 [本草綱目] (=崩漏[一本薬選]), 胸脇痛, 眩運, 肺痿, 咳血, 牙根浮爛, 勁衄, 陰痿, 血淋 [本草綱目], 赤眼, 麻疹, 悪瘍, 失血 [一本薬選], 牙痛, 身痛, 瘡毒 [満洲漢薬].

処方 安斑動, 化毒湯[痘瘍], 升麻湯, 升麻葛根湯[麻疹], 七物升麻湯[傷寒], 濁浪湯[痔疾], 升麻湯[麻痺], 清陽散火湯[附骨疽], 升麻場, 升麻膏, 升麻散[丹毒], 升麻含丸[咽痛], 升麻煎[口瘡], 玄参升麻湯[重舌].

備考